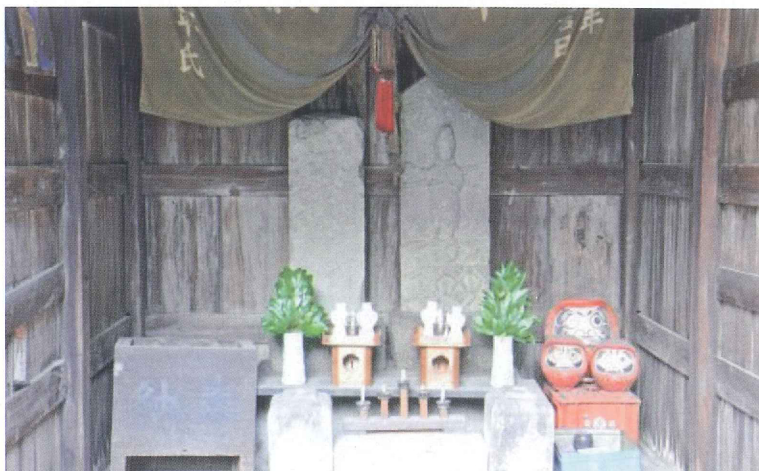


八成所在道標付石造物



〔登録年月日〕昭和六一年三月三十一日
 〔種別〕有形文化財（建造物）
 〔名称〕八成所在道標付石造物
 〔点数〕四基
 〔所有者等〕個人
 〔所在地等〕井草二―二四―一六
 井草二―一六―一四

八成所在道標付石造物

高さ一二二cmから六五cmまでの石塔で、石質はいずれも安山岩である。

四基は現在地およびこの付近に造立されていたもので、すべて道標付ではあるが、その形態は純粹な道標のほかに庚申塔、念仏供養塔とさまざまである。

道標には隣接する田中村や石神井村（練馬区）を案内した「右たなか道」「左しやくじ道」、中野村（中野区）や第一七番札所谷原村東高野山長命寺（練馬区）への道を示す「是より中野へのみち」「これより新高野へのみち」、下井草村の灸所として有名であった田中宗兵衛家と第一四番札所上鷲宮村福藏院（中野区）へ導く「右いくさ名きう」「左福藏院」などの刻銘がみられる。

八成地域は中野く阿佐ヶ谷く石神井く保谷く所沢を結ぶ所沢道の道筋にあたり、これらの石塔は、道筋の村々を案内していたものであろう。

個々の石塔はその造立年代、形態などに著しい特徴は見られないが、道標銘付の石塔群としては区内に類例が少なく、下井草村字八成と呼ばれていた当時の、古道の往來の姿を示す資料である。

【文化財所在地】

